

特別支援学級 音楽科学習指導案

令和元年9月30日（月曜日）第2時限（さざんか2組）

指導者（T1）平賀 真司

（T2）長谷川 義洋

1 単元 音楽となかよし

2 指導計画（8時間完了）7／8

時数	1	2	3	4	5	6	7	8
以下の学習内容を、1チャック10分程度、1パーツ5分程度に組み合わせて行う（1時間4チャックまで）								
チャックの内容	速度の感じに合った表現	楽曲の雰囲気を感じ取った表現	旋律の感じに合った表現	拍の流れやフレーズを感じ取った表現	音楽を形づくっている要素を生かした音楽づくり	反復や変化を感じ取った表現	楽曲の特徴を感じ取った表現	音の重なりや響きを感じ取った表現

3 本時の指導

- (1) 目標 呼びかけとこたえ、速度、拍、反復、音色、リズム、変化を感じ取る
- (2) 準備 CD、音楽デッキ、投影機、プロジェクター
- (3) 本研究との関わり

本学級の児童は音楽がすきで、音楽が流れると自然に体が動き、楽しんでいる様子が見られる。A児は、音楽が流れると体を速く動かすが、自分にとって気持ちがいいリズムで体を動かしているだけで、音楽を形づくっている要素を感じ取っているとは言えない。

前時までの学習では、音楽を聴いて身体表現をすることによって、速度、拍、反復、音色、リズム、変化を感じ取ることができるようになり、ゲームや歌を通して、自然に呼びかけとこたえができるようにしたりした。児童は、速度の違いを身体表現だけではなく、楽器の強弱で表現したり、同じ速度の楽曲でも、音色や拍の流れの違いによって楽曲の気分の違いを感じ取り、楽曲によって身体表現の工夫を変えたりするなど、音楽を形づくっている要素を感じ取っている様子が見られた。

本単元の学習では、身体表現や図形楽譜（ソルフェージュ）によって音楽を形づくっている要素の理解をさらに深めるとともに、歌唱、器楽、音楽づくりを通して、音楽を形づくっている要素を生かした表現ができるようにしていきたい。学習の進め方は前時までと同じく、単元の学習内容を1時間の授業に1チャック10分程度、1パーツ5分程度に組み合わせ、8時間かけて達成する。

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点

3分	1 本時の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を児童に伝える。 ○ 4つのチャンクに分ける。 ○ 一つ一つ伝えながら板書し、色分けして囲む。
10分	2 きょくにあわせてからだをうごかそう (反復) (変化) (速度) (強弱)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の内容をプロジェクターで映す ○ 三部形式を感じ取る3曲を伝える。 (しろくまのジェンカ 踊る子猫 ハンガリー舞曲第5番) ○ 「はじめ-なか-はじめ」「はじめ-なか-はじめ-おわり」を示す ○ 曲に合わせて体を動かす ○ 曲の雰囲気を発言する ○ ノクターン第2番を聴かせる ○ リトミックスカーフで表現する
15分	2 ドレミに合わせて体を動かそう (旋律) (フレーズ) (旋律)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちでドレミの旋律の階段を作る。 ○ 「ドレミの歌」に合わせて、旋律の階段の上を移動する。 ○ 「カエルの合唱」合わせ、旋律の階段の上を移動する。
10分	3 曲の盛り上がりを感じよう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちでカエルの合唱の旋律マットの四角を作る。 ○ 「カエルの合唱」を歌いながら、旋律マットの四角上を歩き、次の人は、前の人が一フレーズ終わったら歌いながら、旋律のカードの上を歩く。 ○ 「ふじさん」を歌う。 ○ 「ふじさん」の旋律を、壁に掲示された、旋律カードで示す。 ○ 「ふじさん」の楽譜の旋律を見て、旋律マットを自分のペースで踏む。 ○ ゆっくり流す「ふじさん」に合わせて旋律マットの上を移動する ○ 楽曲に合わせて、歌唱する
3分	4 レッツテイクアチャンス	

<場の設定>

※T2は、一人で行うことが難しい児童の支援をする

ドレミの歌 カエルの合唱 ふじさん

階段状の旋律のジョイントマット

